

進路だより



三本木農業高等学校

進路指導部

令和元年6月13日発行

1・2年生用

あなたの「強み」は何ですか？

今月号は就職特集！**7月1日**から、**高校生の求人票が公開**になります。皆さんも早いうちに、就職のために今何をすべきなのか、求人票の見るべきポイントは何なのか、しっかり知識を持ちましょう。就職は今後の人生を大きく左右する大切なこと。まだ早いなんて言わずに、後悔することのないようにしましょう。今は進学を考えている人も、いずれは就職するのです。関係ないなんて言わないでくださいね！！

1 まだ、早いんじゃない？

実は、高校生が就職する、と決めるのは意外と早い、という調査結果があるのです。

高校に入る前・・・34.4%
高校1年生頃・・・15.2%
高校2年生の3学期・・・11.8%
高校3年の1学期・・・11.8%
高校2年生の1学期・・・4.5%
高校2年生の2学期・・・8.4%

高卒求人ドットコム調べ



なんと高校に入る前の段階で既に35%の人が、高3になる前までに約75%の人が就職しようと決めているのだそうです。まだ、早いなんて思わずに自分の将来について考えておいたほうが良さそうです！

2 就職したい、でもどうすれば？

就職しよう、と決めたものの、自分が何をしたいのかどんな企業があるのか、不安だらけですね。そんな時に役に立つのが『進路の手引き』。三農の就職、進学の状況が分かるような中身になっています。特に先輩がどんな会社に就職しているのか、知りたいですね。先輩と全く同じ会社である必要はないけれど、どんな仕事をしているのかを知って自分の選択に生かすこともできるでしょう。まだ皆さんの手元にはいきませんが、見たい人は進路へ！！

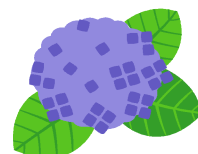
3 給料や就業時間、宿舍や保険について知りたい！

「求人票」をみてみましょう。求人票には仕事の内容、給料、就業時間、休日、選考内容などが書かれています。つい、お給料や休日に目が行ってしまいがちですが、保険や離職率（過去3年間で就職した人数と辞めた人数）、補足事項なども確認する必要があります。会社の所在地（本社のある所）と就業場所（実際に働く所）が違う場合もあるので注意が必要です。

4 アピールポイントを持ちましょう！

たとえ学科試験がなくても、作文と面接は必ずあるものです。自己PRはあなたのセールスポイントをアピールするととても大切な場。あなたは自分を「売り込む」材料を何か持っていますか？

部活動でこんなことを頑張った、農クの活動でこんなことをやった、ボランティア活動に取り組んだ、資格取得に取り組んだ、もちろん勉強（具体的に教科、科目名を！）でも。今からでも遅くありません。**あなたの「強み」を作しましょう。**これは就職希望の人だけでなく、進学希望の人の面接や志望理由書にも関わる大切なことです。





今月の 知っておきたい 情報

《ハローワークで求人情報を見て

仕事を見つけないのですが・・・》

高校卒業後に就職する場合、**高校生専門の求人票**を見て就職を決めなければなりません。高校在学中に就職先を決めることになるので、卒業まで待ってもらう、という約束になっているからです。ハローワークは、今すぐに仕事をしてもらう人を探しているの、**高校生のうちはハローワークで仕事を探すことはできない**のです。ただし、ハローワークには高校生の求人に関わる『学卒担当』の方がいらっしゃるの、**困ったことや聞きたいことがあったら相談に行くことはできます**。



《オープンキャンパスへ行こう！！》

オープンキャンパスは1・2年生のうちに行くのがベストです。時間があるのでいろいろ比較してみることができます。3年生になったら、小論文の勉強や面接の練習、志望理由書など、やることはいっぱい。この夏がチャンスです。県外の学校のオープンキャンパスは、何校かまとめて行ってもいいと思います。オープンキャンパスの日でなくても、学校の先生が色々説明してくれることもあります。前もって電話して聞いてみましょう。掲示板にもオープンキャンパスの案内がいろいろ貼られています。参考にして下さい。

特集



これから輝く

A I 時代に強い資格

ベスト20



皆さんは、どんな資格がこれからの社会の中で役に立つのか、疑問に感じたことはありませんか？ 実は、**10年後の社会では多くの仕事はAI(人工知能)にとって変わられる**と言われているのです。では今、どんな資格をとっておけば有利なのでしょう？

AIにとって代わられにくい仕事のポイントは

①人の「心」を動かす ②新しく創造することができる ③細やかな技術が施せる

④柔軟性のある臨機応変の対応ができる の四つだそうです。具体的にはどんな仕事でしょうか。今回はそのうち9つの資格を紹介しますね。残りは次回・・・。

①保育士（国家資格）

母親の働き方の多様化に伴って、ニーズが高まることが予測される。臨機応変の対応が求められる。

②介護福祉士（国家資格）

高齢者・障がい者への介護だけでなく、家族への指導も必要に。相手の気持ちを汲んだ細やかなケアが必要。

③看護師（国家資格）

患者さんに一番近い存在として最も深く接する。患者さんとその家族に対する心のケアが一番大切。

④作業療法士（国家資格）

陶芸・園芸・手芸といった創造的な作業を用いて、心身に受けた障がいの回復と心のケアを手助けする。

⑤社会福祉士（国家資格）

ソーシャルワーカーともいう。日常生活に支障がある人に対し、相談に乗り、福祉に関する助言・援助を行う。

⑥はり師・きゅう師（国家資格）

患者さんに合わせて人の手で神経やツボを刺激する。技術だけでなく、コミュニケーション能力が求められる。

⑦公認スポーツ指導者

スポーツ指導基礎・競技別フィットネスなどの6分野で、18の資格に区分されている。

⑧日本語教育能力検定

日本語教師は日本語学校や大学、また海外で外国人に日本語を教える。また日本の文化歴史、習慣も伝える。

⑨葬祭ディレクター

家庭の事情や故人の遺志を汲みとり、心のこもった葬儀全般を取り仕切る。遺族への細やかな対応が求められる。